



『～より質の高い公共調達を目指して 良い仕事をした者が報われる仕組み作り～』
－記者発表資料－

平成28年4月14日
四国地方整備局

平成27年度 第4回 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果

●平成27年度第4回四国地方整備局本局小委員会の開催結果について

平成27年度第4回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成28年3月25日に開催し、平成27年度の総合評価方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、平成27年度の総合評価方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・現在実施している技術提案の評価方法は、品質の確保を目的として、オーバースペックとなる提案を十分に抑止し、有効な提案を適切に評価できている。
- ・落札者が、技術提案、技術者、企業の評価点において、どの評価項目が他者より優れていたかについて、また、技術点がトップではない者が、価格の優位性により落札した場合は、前記評価項目においてどの部分が他者より劣っていたかについても分析して頂きたい。

本局小委員会の概要

1. 日時：平成28年3月25日（金）14：00～15：40
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階災害対策室
3. 出席委員：高塚委員、那須委員、武藤委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 企画部

技術管理課長 伊賀 達也 (内線3311)

○技術管理課長補佐 片岡 浩史 (内線3314)

【港湾空港関係】

品質確保室長 近藤 徹 (内線6413)

(○：主な問い合わせ先)

平成27年度第4回四国地方整備局総合評価本局小委員会 開催結果の概要

日時：平成28年3月25日（金） 14：00～15：40

場所：高松サポート合同庁舎 13階災害対策室

出席委員	香川大学大学院	教授	高塚 創	
	徳島大学	教授	武藤 裕則	
	高知工科大学	教授	那須 清吾	

報告事項

1) 平成27年度の総合評価落札方式による契約結果等について

意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価方式）及び業務等（総合評価方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成27年度の総合評価方式による工事54件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、平成27年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等41件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】

平成27年度対象工事

本官（本局）契約工事（H28.2.1基準日）

	開札済み	手続き中	準備中	合計	備考
技術提案評価型（S型）2テーマ	11件	4件	2件	17件	
技術提案評価型（S型）1テーマ	17件	5件	0件	22件	
施工能力評価型（I型）	1件	0件	0件	1件	
施工能力評価型（II型）	11件	3件	0件	14件	
小計	40件	12件	2件	54件	
総合計	40件	12件	2件	54件	

【業務関係】

平成27年度対象業務

本官（本局）契約業務（H28.2.1基準日）

		特定・開札済	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	21	1	0	22
	総合評価落札方式	16	2	0	18
役務	企画競争方式	0	0	0	0
	総合評価落札方式	1	0	0	1
合計		38	3	0	41

主な意見の概要

- ・現在実施している技術提案の評価方法は、品質の確保を目的として、オーバースペックとなる提案を十分に抑止し、有効な提案を適切に評価できている。
- ・落札者が、技術提案、技術者、企業の評価点において、どの評価項目が他者より優れていたかについて、また、技術点がトップではない者が、価格の優位性により落札した場合は、前記評価項目においてどの部分が他者より劣っていたかについても分析して頂きたい。